

## 「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」放送原稿〈3月13日（金）放送分〉

### テーマ「奄美の民話や昔話」

あまみエフエム ディ！ウェイヴをお聞きの皆様、おはようございます。鹿児島県立奄美図書館です。今日は、毎月第2金曜日にお届けする、「奄美の民話や昔話」シリーズの第12回、大和村の昔話「人間無情」です。

昔々、ある男が大事な大金を持って、橋のない川を歩いて渡っていました。すると、男が無事に川を渡り終えたあとに川が急に増水し、とても激しい流れになりました。男は激しい川の流れを見ながら、「ああ、私は助かって良かった…。そうだ、上流から誰かが流されてきたら助けてあげよう。自分だけ助かってはいけないものだ。」と思いました。すぐに男は、近くから長い竹竿を探してきて、誰か流されてこないか川岸に立って見ていました。

しばらくすると、一匹の犬がゴミの上に乗って流されてきました。男は、「よーし、助けてあげよう。」と言って、犬を川から引き上げると、自分が持っていた握り飯を食べさせてあげました。またしばらくすると、今度は一匹の猿が流されてきました。男は先ほどと同じように、「よーし、助けてあげよう。」と言って、川から猿を引き上げ、握り飯を食べさせてあげました。男は、「うーん、この様子だと、また誰か流されてくるかも知れない。待ってられる限り、ここで待ってみよう。」と川岸に立っていました。すると今度は、丸太につかまった一人の若者が流されてきました。どうやら若者は、上流にある山が大雨で崩れて、川に流されてきた様子でした。男は、「よーし、助けてあげよう。」と言って、若者を川から引き上げてあげました。

男に助けられた若者は、「本当にありがとうございました…。ところで、あなたはどちらまで行かれるのですか。」と尋ねました。男は、「私は山の向こうの村に大事なお金を届けなくてはならないのだが、川を渡ったら急に増水してきたので、流されてくるものを助けていたのだ。」と答えました。若者は、「ああ、そうだったのですか…。私はその村の者なのです。山に行っていたら、突然山が崩れて川に流されてしまいました。よろしければ、助けていただいたお礼に私も村までご一緒します。」と言いました。男は、「そうか、では一緒に行こう。」と言い、二人は村へ向かって歩き始めました。男に助けられた犬と猿は、近くの山にでも逃げていくだろうと思われましたが、不思議なことに二人のあとをついて来るのでした。若者が犬と猿に、「お前たちはさっさと山に帰れ、帰れ。」と言ったのですが、やはり犬と猿は二人のあとをついて来るのでした。

ある山寺の前に差しかかったとき、もうすっかり日も暮れていたもので、二人はそこに泊まることにしました。男と若者はお寺のお堂の中に、犬と猿はお堂の外の縁側に寝ることにしました。しばらくすると、男はとても疲れていたもので、ぐっす

りと眠ってしまいました。すると、若者が男の荷物を取り、そうっと中にあった大金を取り出しました。そして若者は、男に気付かれないように、金を持って外に出ようとしてしました。その瞬間、猿が大声でギャアギャアと鳴いて若者の肩に飛びつき、犬は大声でワンワンと鳴いて若者の足に噛みつきました。それまでぐっすりと眠っていた男は、突然の猿と犬の大きな鳴き声で目が覚めました。そして荷物の中のお金を探すと、無くなっていたので、慌てて外に出てみると、お金を持った若者が猿と犬に飛びつかれて、逃げられなくなっていました。男は若者に、「私は川に流されていたお前を助けたのに、それなのにあなたは何かを言うことをするんだ。犬と猿は、こんなことがあるだろうと私を心配して、あとをついて来たに違いない…。まさか助けてあげた人間がこんなことをするとは思わなかった…。もうお前とは一緒に行きたくないから、帰ってくれ。」と言いました。若者は逃げるように男のもとから去って行きました。

そのあと男は、犬と猿と一緒に村へ向かいました。やがて村の入口まで来ると、猿は涙を流し、後ろを何度も何度も振り返りながら、近くの山へ帰って行きました。犬は山に行っても元の主人には会えないと思ったのか、男を新しい主人にして、男のそばを離れませんでした。

このように、時として人間よりも動物の方が、<sup>おんがえ</sup>恩返し<sup>の</sup>の心を持っていることもあるということです。

さて皆さん、今回のお話はどうでしたか。せっかく助けてもらったのに、<sup>あだ</sup>恩を仇<sup>あ</sup>で返すようなことをした若者が出てきましたが、犬と猿に<sup>ひど</sup>酷い目<sup>あ</sup>に遭わされましたね。それとは逆に、犬と猿は、助けてもらった恩返しを見事に成し遂げました。男の言葉にもありましたが、犬と猿は、若者の悪い心を見破っていたのでしょう。<sup>ぞく</sup>俗に「お互いに仲が悪い関係」を「犬猿<sup>けんえん</sup>の仲」と呼びますが、それとは正反対の、見事な連携プレイでした。

このように奄美図書館には、郷土に伝わる昔話を紹介した本がたくさんあります。ぜひ図書館にいらして、いろいろな本を手にとってほしいと思います。職員一同、皆様のご来館を心よりお待ちしております。以上、鹿児島県立奄美図書館でした。